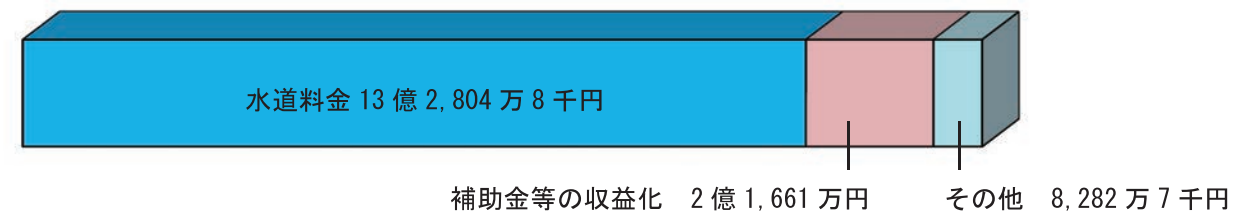


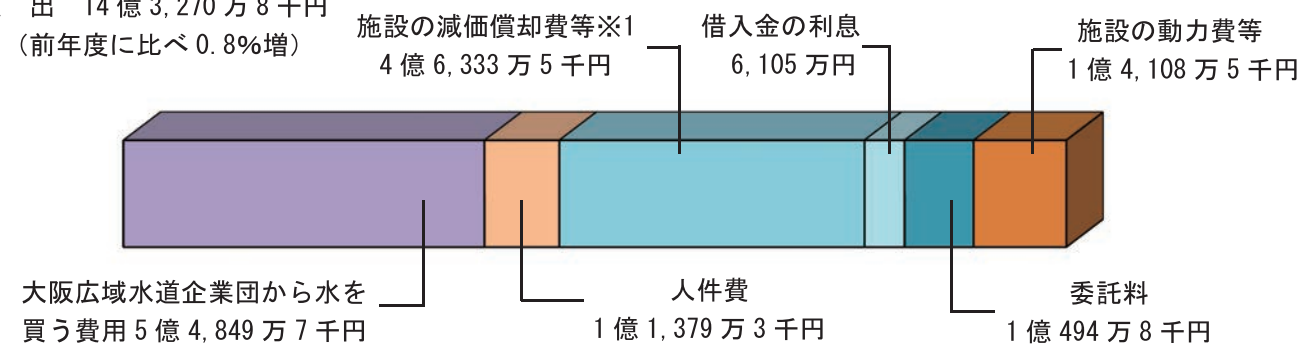
平成 29 年度水道事業会計決算のあらまし

水道水を家庭に送るための費用とその財源【税抜】

収 入 16 億 2,748 万 5 千円
(前年度に比べ 2.8%減)



支 出 14 億 3,270 万 8 千円
(前年度に比べ 0.8%増)



※1 減価償却費等：取得した施設が 1 年間に減少した経済的価値を経費として算定したものです。

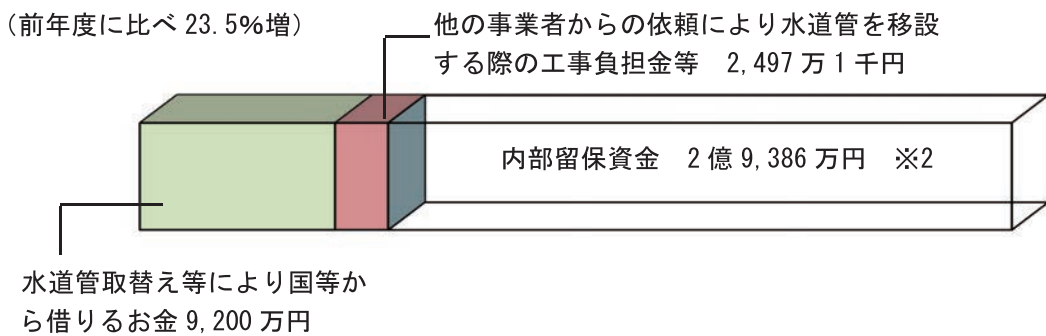
経営の状況

水道水を家庭に送るための費用とその財源について、収入は、16 億 2,748 万 5 千円となり、前年度と比べ 4,648 万 1 千円（2.8%）の減少となりました。一方、支出は、14 億 3,270 万 8 千円で、前年度と比べ 1,115 万 2 千円（0.8%）の増加となりました。その結果、1 億 9,477 万 7 千円の純利益を計上しました。当年度末処分利益剰余金については、7 億 396 万 8 千円を計上することになりました。

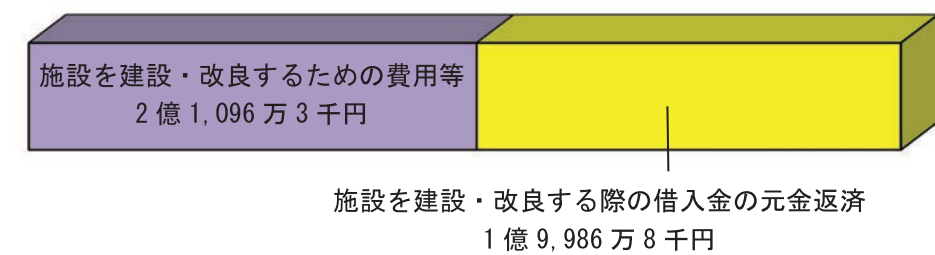
水道施設を整備・拡充するための費用とその財源について、収入は、1 億 1,697 万 1 千円となり、前年度と比べ 2,225 万 6 千円（23.5%）の増加となりました。一方、支出は、4 億 1,083 万 1 千円で、前年度と比べ 3,201 万 5 千円（7.2%）の減少となりました。

水道施設を整備・拡充するための費用とその財源【税抜】

収 入 1 億 1,697 万 1 千円
(前年度に比べ 23.5%増)



支 出 4 億 1,083 万 1 千円
(前年度に比べ 7.2%減)



※2 内部留保資金：減価償却費など現金支出を伴わない費用により生じた資金であり、その資金で不足を満たします。

給配水の状況

給水人口は 62,191 人で、前年度と比べ 0.9% の減少となり、総配水量は 7,313,290 m³ で、前年度と比べ 1.64% の減少となりました。有収水量は 6,674,768 m³ で、前年度と比べ 58,873 m³（0.87%）の減少となり、有収率は 91.3% で、前年度と比べ 0.7 ポイントの増加となりました。

建設改良事業について

配水場の設備更新事業を施工しました。また、下水道整備工事との整合を図りながら配水管改良整備事業を進めてまいりました。

以上のとおり、今年度は水道水を家庭に送るための費用とその財源において、減少している収入額を超えないように支出額を抑えることによって、純利益を計上することになりましたが、今後とも、より一層の経営努力により財政の健全化を図り、安定した水道事業を目指し引き続き努力してまいります。

水道事業の経営は皆様からの水道料金で、支えられています。

公営企業である水道事業は「独立採算制」を基本とし、税金は使われず、使用水量に応じてお支払いいただく水道料金収入で必要経費をまかなっています。